



医療
分野

福島県内100%部品調達に向けた移乗介助・移動支援・見守り支援機器実用化開発

超高齢化社会によって直面している医療・介護現場における人材不足に対応するための移乗介助・移動支援・見守り支援機器を、福島県内の部品を100%用いて開発・製造し、福島県の復興とロボット産業集積に貢献する

現状 背景

- 2025年には「団塊の世代」が75歳以上となる超高齢社会を迎え、介護ニーズのさらなる増加が予想されることから、**介護現場での負担軽減を実現する機器の開発が急務**となっている
- 介護現場における「**被介助者をベッドから車椅子へ移乗させる**」という動作は、介助者が被介助者を抱きかかえ、体を旋回させて移乗させる必要があり、**転倒による事故発生の危険が伴う**
- さらにこの動作は一日に何回も行う必要があることから、**介助者の腰への負担が非常に大きく**、上記転倒の危険と相まって、**介助者の大きな精神的、肉体的負担**となっている

開発 目標

- 従来の車いすの背面をなくし、前方に手すりを設けて後ろから乗り込む機構とすることで、ベッドと座面を陸続きにして、**介助者が被介助者を抱きかかえる動作なしに移乗**することを可能とした、**全く新しい移動体を開発**する
- 移乗・移動に加えて、**移動した先での食事・洗面・排泄が可能となるロボットを開発**するとともに、移乗の際の**利用者の体調の変化などをロボットが把握**できる機能を搭載する

先進性

- 従来の車いすとは異なる後ろから乗り込む方式を採用し、**移乗時の旋回や立ち上がり動作が不要**となり、より安全に乗り込むことができる。
- IoT技術を活用し、**遠隔地からの操作、コミュニケーション、利用者の体調変化、機器の状態把握**等の付加価値を持つ製品を実現する
- 自律走行機能の追加により、**搭乗者の操作を必要とせず**に安全に移動させることができる

事業化 目標

- 2020年度より、東北地方の医療機関を中心に**拡販を進めていく**

事業者 概要

《事業者名》株式会社アイザック 《事業内容》医療・介護の現場で真に役に立つロボットの開発を目指し、現場の医療機関や協力会社のネットワークを活かし医療・介護用ロボットの開発を行っている。さらに、医療・介護ロボット開発の知見をもとに災害対応ロボットや医療介護システムの開発にも取り組んでいる
 《創業》2012年8月 《住所》福島県会津若松市東栄町 1-77 Aictビル2F
 《HP》<http://www.aizuk.jp/> 《問合せ先》0242-85-8590



移乗・移動ロボット Keipu [ケイプ]



Keipu [ケイプ] 使用イメージ